

第R-19号
令和2年12月25日

第六町内会だより

発行者:佐藤俊明
編集者:広田進六



令和3年1月1日
北郷親栄第6町内会
会長 佐藤俊明

令和3年新年挨拶文

『Covid-19の感染終息を願って!』

災害に強く皆さんと共に支え合う町づくりを目指します

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで、令和3年の輝かしい新春をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。

また、北郷親栄第6町内会の運営・活動等に深いご理解とご支援ご協力を受け賜わり厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染予防防止策の一環として、町内会の親睦活動が制限されるなど例年にはない対応を迫られました。この様な中にあり、何とか皆様一人一人の努力により粘り強い行動で平穏を保っていますが、新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない状況で感染の拡大が続いております。

町内会は、毎日安心して暮せるために◇防犯・防災・交通安全◇環境美化◇福利厚生に力を入れ活動してまいりました。

新型コロナウイルスの特徴としては、特に高齢者や基礎疾患の方は重症化リスクが高いことから、生活リズムを乱さないように運動不足にならないように注意して過ごして頂きたく思います。

北海道東部地震・ブラックアウト・大型台風等を経験した私たちの地域でも感染症を踏まえた地域共助の防災・被災の手立てを考えて行かなければなりません。安全確保のため昨年11月15日に北郷会館にて避難所訓練を感染防止対策をした上で、参加者を少数にて実施致しました。

菅首相も話されているように「自助」「共助」「公助」の役割を理解していかなければなりません。この様な時代ほど、町内会の役割が重要に成ってきています。

皆様が、本年も健康に気を付けて明るく元気で笑顔で過ごされますように心より祈念致します。

一日も早く新型コロナウイルスが終息することを切に願い新年の挨拶とします。

ありがとうございます。

虎の子渡し

中国の故事に由来する話。親虎が3匹の子供を川の対岸に運ぶ際の苦労についてのもの。川を渡ることが、どうしてそれほどの苦労なのか疑問が起ころう。これには訳がある。

虎は子が3匹生まれると、そのうちの1匹はヒョウで他の子を食ってしまうのだそうだ。そこで、親は岸に虎の子とヒョウの子と一緒にいるよう講じるしかない。川を渡るときは、一度に一匹ずつしか運べないので、まずヒョウの子を渡す。元の岸に戻ったら次は虎の子を一匹運ぶが、その帰りはヒョウを連れて戻る。つぎに、ヒョウを残して2匹目の虎の子だけを運ぶ。

空身で戻って最後にヒョウを運ぶというものだ。

※「虎の子渡し」がやりくり算段する譬(たとえ)とは知らなかった。

お年玉をあげるめいの子供は何という?

「めい」、や「おい」の子供は「またおい(又甥)」「まためい(又姪)」と呼ぶ。またどちらも「てっそん(姪孫)」と呼ぶ。さらにお年玉をあげるあなたは「叔祖父」「伯祖父」…おおおじ、女性の場合は「叔祖母」「伯祖母」…おおおばとなる。「叔」か「伯」は姪孫の親の親、つまりあなたの兄弟姉妹の年令が関係してくる。

ラストで明かされる衝撃の事実

樋口 一葉の短編小説【大つごもり】を読もう



一葉は下谷龍泉寺町の店をたたんだあと、本郷の丸山福山町(現・文京区)へ転居。「大つごもり」をはじめ「たけくらべ」「にごりえ」などの作品を次々と発表した。この期間は後に「奇跡の14ヶ月」と呼ばれる。



【樋口 一葉】

毎月の月末を「つごもり」、12月末日の大晦日(おおみそか)は「おおつごもり」といった。

資源回収 1月16日(土)・12時 各ごみステーション